Vol.53

2023 年 7 月発行

日越大学メールマガジン

福岡アジア都市研究所のプログラムに参加した学生と教員

早稲田大学のプログラムに参加した学生と教員

日越大学学生がさくらサイエンスプログラムで訪日

科学技術振興機構（JST）の「さくらサイエンスプログラム」は、世界の優秀な若者を日本に招待し、最先端科学や日本文化を体験する機会を提供しています。7 月には、福岡アジア都市研究所と早稲田大学の協力のもと、日越大学から 18 名の学生がこのプログラムで日本を訪れました。

■福岡アジア都市研究所「福岡から、都市成長を支える人材育成」
福岡アジア都市研究所には、7 月 3 日から 9 日までの間、大学院（修士）地域研究プログラム 3 名と学部日本学プログラム 5 名、合計 8 名の学生及び 1 名の教員が招かれました。アジア交流拠点都市づくりと都市評価、そしてウェルビーイングに関連する講義やワークショップ、施設視察を行いました。また、福岡市内の大学訪問においては、ベトナム進出や海外事業の課題、社会福祉と年金制度について学ぶ機会もありました。

■早稲田大学社会科学部「アジアを学際的視点から考える」
早稲田大学には、7 月 3 日から 12 日までの間、学部日本学プログラムの学生 10 名が招かれました。学生たちは学内の授業やゼミ、そして国際交流センター（ICC）での国際交流プログラムに積極的に参加し、様々な視点から日本の科学技術や日本文化に触れることができました。UNHCR の宮澤哲氏による「グローバルな人の強制移動と UNHCR」の講義では、活発な質疑応答が行われ、学生が熱心に質問の答えに聞き入っていました。さらに、肥後細川庭園での茶道体験など、日本の文化体験も行われ、学生たちにとって貴重な体験となりました

「日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト」では、今後も日越大学における「さくらサイエンスプログラム」の活用や日本との交流を積極的に支援していきます。

今月号の内容

日越大学学生がさくらサイエンスプログラムで訪日
■福岡アジア都市研究所「福岡から、都市成長を支える人材育成」
■早稲田大学社会科学部「アジアを学際的視点から考える」

三谷産業・小金井精機製作所連携講座 2022 年度振り返り会議を実施

芝浦工業大学、ハロン大学との協定署名式を実施

Focus
2023 年新たに「食品工学と健康（EFT）」「メカトロニクスと日本型ものづくり（EMJM）」が開設

Real Voice
石川　由紀　先生（修士課程 気候変動・開発プログラム）

2023 年入学出願受付中
■JICA ベトナム事務所での大学説明会
■ハノイ工科大学での進学フェアに参加
■学部プログラム紹介の動画配信を実施

三谷産業・小金井精機製作所連携講座 2022 年度振り返り会議を実施

2023 年 7 月 18 日、2022 年度の「三谷産業・小金井精機製作所連携講座」の振り返り会議を対面及びオンラインで実施しました。同会議には、本講座に関わる企業や機関の代表、講師の他、日越大学の教員・学生代表等 40 名余りが参加しました。本連携講座は、グローバルな視野を持ち、日本のものづくりを理解することのできる人材の育成を目的とし、日越大学が 2021 年から三谷産業及び小金井精機製作所と連携して取り組んでいます。今年で 2 回目となった本講座は、学部日本学プログラムの正規科目「日本型マネジメント」の一部として位置づけられ、2023 年 2 月から 5 月まで計 15 回の授業が実施されました。

本振り返り会議の第一部では授業レビューが行われ、学生代表 4 名が講義を通じて学んだことを発表しました。学生からは「日本的経営である「ものづくりは人づくり」は、企業の持続的発展のために重要であり、長期的な視点をもった経営の重要性を学びました。経営理念の重要性や顧客にとっての価値をどのように創りだしていくかについても理解することができました。講義を通して得たこれらの視点はベトナム企業にとっても重要な点であると考えており、今後さらに追求していきたいと思っています。」と発表しました。第二部では、古田学長より、今年度の総括として「個々の事例を超えて「ものづくりは人づくり」であることや、「三方よし」など、ベトナムの持続的成長を可能にする経営の手がかりを得ることができたと考えます。」と本講座の成果を強調しました。さらに今年新たに開設される学部プログラム「メカトロニクスと日本型ものづくり」を紹介し、「本企業連携講座での教養としての「日本型ものづくり」（理論）と、新プログラムによる技術としての「日本型ものづくり」（実践）が車の両輪となるよう、産学連携に取り組みたいと思っています。」と述べました。会議の最後には改めて三谷産業・小金井精機製作所によるコーディネートと、協力していただいた企業や機関に対しての感謝の意が示されました。

会場参加者とオンライン参加との参加者写真

日越大学の会場

芝浦工業大学、ハロン大学との協定署名式を実施

■芝浦工業大学

2023 年 6 月 27 日、日越大学は芝浦工業大学との大学間連携に関する協定を締結し、署名式が対面とオンラインのハイブリッド形式で行われました。署名式には古田学長、芝浦工業大学山田純学長をはじめ両校の関係者が参加しました。両校は、教員・研究者の交流、学生交流、共同研究、共同会議・シンポジウムの開催などに協力して取り組んでいきます。

署名式（左：芝浦工業大学　山田学長、右：古田学長）

■ハロン大学（ベトナム）

2023 年 7 月 17 日、日越大学とハロン大学との大学間連携に関する覚書署名式がクアンニン省ハロン大学にて行われました。署名式で古田学長は、日本政府の支援を受けていることや設立時期などの共通点が多い両校がそれぞれの強みを活かしながら、今後も、持続的かつ包括的な発展に向けて最大限協力していくことを約束しました。

Real Voice

石川　由紀 先生（修士課程　気候変動・開発プログラム）

先月号に引き続き日越大学に JICA 専門家として派遣されている先生方をご紹介します。第 3 回目は修士課程気候変動・開発プログラム（MCCD）を担当している石川由紀先生から、先生の研究分野、日越大学での活動についてお話を伺いました。

-先生の研究分野について教えてください。

気候変動が水圏生物や農業にあたえる影響を研究しています。気候変動による影響は、生物多様性にも非常に大きいと言われています。人間が生存できる安全な活動領域と限界点を示したプラネタリーバウンダリーの概念では、気候変動、生物多様性の損失や窒素やリンなどの循環が、すでに限界を超えたとする報告もあります。私は気候変動により湖沼に生息する生物が受ける影響や、農業などによる人間活動が環境に与える影響などを調べています。ベトナムでは気候変動による適応の一つでもあるのですが、コメ作からより利益の高いフルーツ栽培、または塩水遡上を利用した集約的エビ養殖への転換などが行われています。その際のコメ生産量の変化や、集約的エビ養殖が水質や生態系に与える影響なども調べています。

石川由紀先生

-日越大学では専門家としてどのような活動をされていますか。

日越大学では、教員として授業や学生の修士論文指導や進路相談、研究活動を主な活動としていますが、専門家として、日本の大学や日越大学の教員と連携を密接に取り、日越大学の運営が軌道に乗っていくためのサポートもしています。

日本の大学では全てがシステム化されており、事務体制も万全ですが、ベトナムの大学では少ない人数で運営していかなければならないので、非常に柔軟な対応を迫られることが多々あります。お互いの文化や感覚の違いなどを大事にしながら、共に発展していける方途を探っていきたいと思っています。

気候変動・開発プログラムの授業（1）

－日越大学で学びたいと思っている方へメッセージをお願いします。

気候変動・開発プログラムでは、政治、経済、環境、工学など、非常に幅広い分野を扱っています。分野が広いため、日本からは幹事大学である茨城大学だけでなく、国立環境研究所や筑波大学をはじめ他大学からの講師も参加いただき、最先端の動向をお伝えしています。教員は学生一人ひとりのニーズにできるだけ応えようと、個別相談を実施したり、学生からのフィードバックをカリキュラムに取り入れるようにもしています。ベトナム人学生だけでなく、これまでにアジア各国やアフリカからも留学生が気候変動・開発プログラムで学んでおり、国際的な雰囲気の中で学ぶことができます。これまでの専門知識に関わらず学ぶことができるので、関心のある方は、是非一度ご連絡ください。お待ちしています。

気候変動・開発プログラムの授業（2）

日越大学には以下のようなプログラムがあります。

■修士課程　気候変動・開発プログラム（MCCD）
https://vju.ac.vn/climate-change-amp;-development-pdde4.html

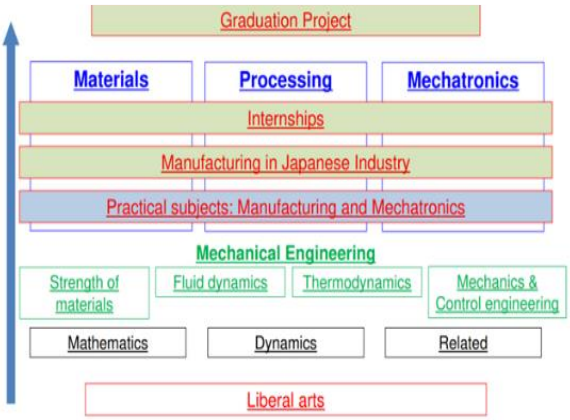
日越大学で学んでみたい方はこちら↓
http://admission.vju.ac.vn/en/homepage/

Focus
2023 年新たに「食品工学と健康」「メカトロニクスと日本型ものづくり」プログラムが開設

2023 年 6 月 1 日、日越大学では新たに「食品工学と健康」「メカトロニクスと日本型ものづくり」プログラムの開設が正式決定しました。今月号と来月号では新たに開設される 2 つのプログラムを特集します。今月号では「メカトロニクスと日本型ものづくりプログラム」を特集致します。

●メカトロニクスと日本型ものづくりプログラム
Integrated Engineer - Master's Programs in Intelligent Mechatronics System & Japanese Manufacturing (EMJM)

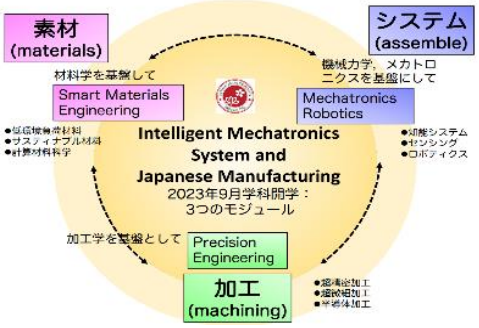
カリキュラム全体像と特徴



EMJM のカリキュラムは機械工学の基盤科目を修得した後、専門科目を学ぶ構成です。 機械工学の基盤科目である「材料力学」、「熱力学」、「流体力学」「機械力学/制御工学」は世界共通で、日本のみならず世界に適応し、通用する基礎力と専門・応用力を身につけることができます。また日本の大学でもめずらしい「日本型ものづくり」を学ぶことができます。大学にいながら日本製造業のトップなどによる講義や実習を受けられ、日系企業と一緒になって研究課題に取り組むこともできます。卒業後は製造業で活躍できる高度な技術者・研究者を目指すことができます。また、ベトナム、日本のみならずグローバルに活躍することもできるでしょう。さらに本プログラムでは 4.5 年の Engineer 課程を修了した後、1 年間修学し単位を取得することで修士号を取得することも可能です。EMJM は大阪大学の支援を得ており、ベトナム人講師だけでなく、日本人講師からの質の高い講義を受講できます。

学びの領域
- 材料学（Samart Materials Engineering）
- 機械力学、メカトロニクス（Mechatonics Robotics）
- 加工学（Precision Engineering）

学びの領域



学位
■ Engineer in Mechatronics Engineering (Intelligent Mechatronics System and Japanese Manufacturing)
修業年限: 4.5 年

■ Master in Mechatronics Engineering (Intelligent Mechatronics System and Japanese Manufacturing)
修業年限：5.5 年（上記 Engineer の学位取得期間を含む）

プログラムの特徴
- 単なる専門知識、技術ではなく日本のみならず世界に適応し通用する基礎力と専門・応用力を身につけることができる。
- 日本型ものづくり分野において世界で活躍することができる。
- 4.5 年の Engineer 課程を修了した後さらに 1 年間就学し単位を取得することで修士号を取得できる。
- 幹事大学として大阪大学が支援。多くの日本企業とも連携。世界トップレベルの教育カリキュラムをベースに、大学にいながら企業からも学ぶことができる。

2023 年出願（修士課程）受付中

日越大学では、2023 年出願を受付中です。出願締切、面接試験は以下の日程となります。

大学院（第 3 回）	出願締切 8 月 30 日
	面接試験 9 月 10 日

入試情報は日越大学ホームページ（英語）をご参照下さい。http://admission.vju.ac.vn/en/homepage/

日越大学では高校訪問、出張授業、メディアへの出演など、様々な広報活動を実施しています。今月号では JICA ベトナム事務所での大学説明会、進学フェア出展、学部プログラム紹介の動画配信について紹介します。

■JICA ベトナム事務所での大学説明会（7 月 5 日）

学部および修士プログラムについて紹介する大学説明会を JICA ベトナム事務所で開催しました。当日は、高校生やその保護者、また修士課程進学に興味ある学生、社会人など多くの方に参加頂きました。大学の全体説明の他、各プログラムの教職員による個別相談が行われ、日越大学をより深く知って頂く機会となりました。

JICA ベトナム事務所での大学説明会

■ハノイ工科大学での進学フェアに出展（7 月 22 日）

このフェアは 9 月に進学を希望している高校生やその保護者を対象に開催されており、ハノイにある大学を中心に多くの大学が出展していました。日越大学のブースでは教職員や学生ボランティアが、訪れた高校生やその保護者に対して、入学条件や各プログラムについて説明を行いました。

進学フェア出展

■学部プログラム紹介の動画配信を実施（7 月 13 日～7 月 28 日）

学部の各プログラムの紹介をするため 7 月 13 日から 7 月 28 日の平日毎日 19：30～20：30、Facebook Live にて動画配信（Live Streaming）を実施しました。動画内では各プログラムの担当教職員によるプログラム紹介や事前に視聴者から募集した質問に答える時間も設けられました。

配信済みの動画は日越大学公式 Face Book サイト（https://www.facebook.com/vnu.vju）から視聴できます。

動画配信の様子

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

https://vju.ac.vn/en

日越大学 Facebook

（ベトナム語）https://www.facebook.com/vnu.vju/

（日本語）https://www.facebook.com/VJUjp/

JICA プロジェクトページ

https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/index.html

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト　メルマガ編集部（担当：川口）

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。